

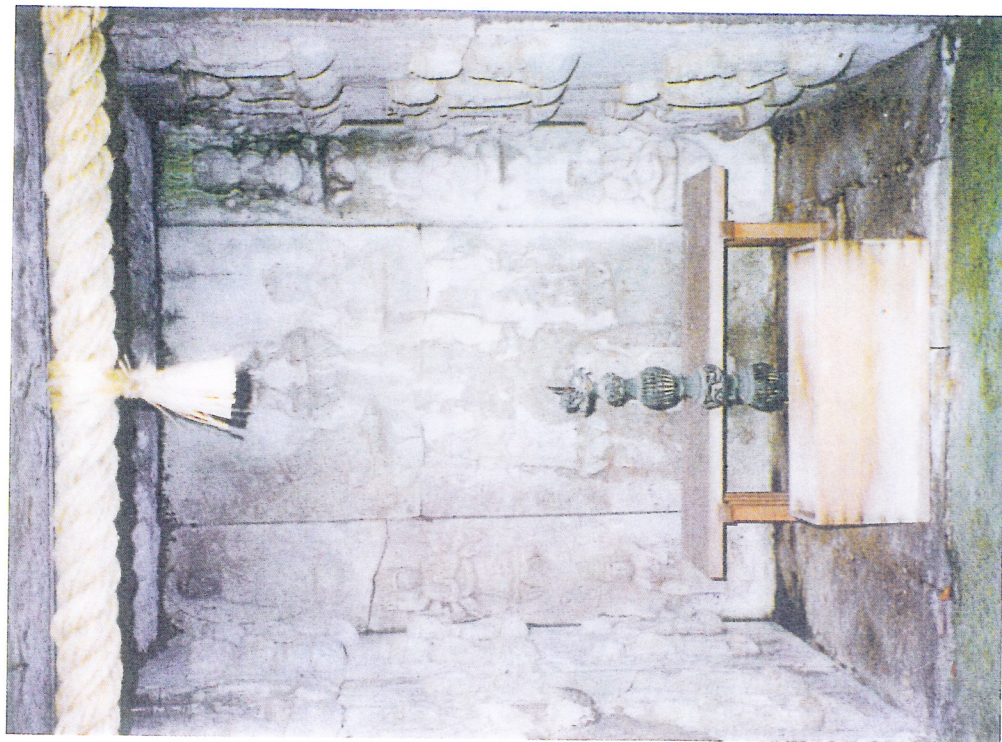
29 西国三十三ヶ所観世音

所在地 宮前7-20 御前神社
 指定年月日 平成5年5月26日
 管理者 宮前公文区

西国三十三ヶ所観世音がある御前神社は、式内社と伝えられ、祭神が藤原氏の祖神であることから、昔この地にいた藤原系の氏族と関係があると見られるが、由緒ははっきりしない。

これが彫られた石龕は、凝灰岩に三十三ヶ所観世音と阿弥陀如来、更に源空上人と仏岩上人もまとめた浮彫の厨子で、建立は元禄8年(1695)である。

西国三十三ヶ所観世音の巡拝は、広い地域に一体毎に仏像が安置されているため、すべてを廻ることは昔の人には至難の行であった。そのためすべてを一つの石龕に刻みこんだこの厨子は、近郷近在のみならず広く参詣人を集め、信仰の対象となっていた。



西国三十三ヶ所観世音